

市政ニュース

市議会役員決定

議長は福田嗣久さん、副議長は嶋崎宏之さん

11月11日、市議会臨時会が開催され、議会役員が決まりました。

議長に福田嗣久さん、副議長に嶋崎宏之さん、議会選出の監査委員に升田勝義さんがそれぞれ選ばれました。



議長
福田嗣久



副議長
嶋崎宏之



監査委員
升田勝義

なお、各委員会の委員長、副委員長は次のとおりです。
◎は委員長、○は副委員長です。

■常任委員会

【総務委員会】

◎青山憲司 ○上田倫久

【文教民生委員会】

◎伊藤 仁 ○竹中 理

【建設経済委員会】

◎村岡峰男 ○西田 真

■特別委員会

【議会広報特別委員会】

◎広川善徳 ○浅田 徹

【交通網問題調査特別委員会】

◎井上正治 ○前野文孝

【防災対策調査特別委員会】

◎関貫久仁郎 ○井垣文博

■議会運営委員会

◎椿野仁司 ○関貫久仁郎

市議会本会議の様子は、市ホームページのインターネット中継(ライブ)でも見ることができます。

開館から8年 地元住民で運営

「たんたん温泉福寿の湯」入浴者50万人達成!!

10月24日、たんたん温泉福寿の湯(但東町坂野)の入浴者が、開館以来50万人となりました。平成20年のオープン以降、地元住民でつくるたんたん温泉運営管理組合が運営し、緑豊かな山間にたたずむ癒しの温泉として親しまれています。

50万人目となった衣川征治さん(宮津市)は、真野副市長から記念品を受け取ると「何十回も来ていますが、自分が

50万人と聞いてびっくりです」「畳があつてくつろげて、サウナもあり良い温泉」と話しました。



▲入浴者50万人目となった衣川さん夫婦(左)

「コウノトリ但馬空港の利用促進事業」 「豊岡市×JAL」プロモーション動画配信

本市は、日本航空(株)(東京都品川区)と共同で、豊岡市観光プロモーション動画(30秒と10分バージョンの2種類)を制作しました。但馬地域の活性化と大交流の実現に必要な不可欠な東京直行便。但馬空港利用促進事業の一環です。

月から、JALの国内線の航空機内で放映します。



▲首都圏の三つの鉄道会社の電車内で放映されたプロモーション動画のワンシーン(出演は俳優の辰巳琢郎さん)

主な市政の動き

10月

12日・全但バス(株)と「災害時等におけるバス利用に関する協定」締結

18日・城崎文芸館リニューアルオープン

・豊岡市図書館未来プラン検討会議

19日・豊岡市・京丹後市合同会議(京丹後市)

24日・安全な避難を考えるフォーラム「新たな防災マップと水害への備え」

25日・秋季市政懇談会(出石、28日・豊岡、11月2日・但東、4日・日高、8日・竹野、9日・城崎)

27日・豊岡市男女共同参画社会推進懇話会

・豊岡市環境審議会

11月

1日・「豊岡市公共施設再編計画」「豊岡市公共施設等総合管理計画」策定

・鳥取県中部地震の被災地に家屋被害調査職員派遣(～6日)

2日・豊岡市美術展(～6日)

・なすびさんエベレスト登頂報告会

4日・豊岡市地域福祉計画策定委員会

・豊岡市障害者福祉計画策定委員会

8日・子どもたちが豊岡で世界と出会う音楽祭「おんぷの祭典」(～13日)

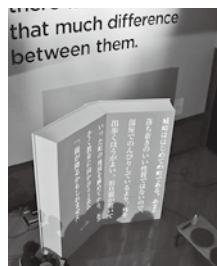
9日・豊岡市基本構想審議会

11日・仲田光成記念豊岡全国かな書展(～13日)

城崎文芸館の装い新たに

リニョールトークイベント「万城目学×湊かなえ」開催

城崎温泉ゆかりの作家らを紹介している城崎文芸館が、10月18日、リニョールオープンしました。同日の夜には、リニョールオープン特別企画として、万城目学さんと湊



▲作品の一節を映像で映し出す高さ2.4mの本ジェ

かなえさんのトークイベント「城崎対談」を開催しました。地元のNPO法人「本と温泉」から短編小説「城崎裁判」を発表している万城目さん。同じく「城崎へかえる」を発表している湊さん。2人は、城崎への思いや作品の誕生秘話などについて語り合いました。

新しい文芸館では、城崎と縁のある企画展を定期的に開催し、より深く、より論しく文

学に親しんでもらえる施設に生まれ変わりました。



▲作品の誕生秘話などを語る湊さんと万城目さん(左から)

豊岡市から「上田市探訪ツアー」。上田市から「豊岡市訪問の旅」 姉妹都市上田市との友好交流「豊岡市民ツアー」等を実施

上田市(長野県)とは、1706年の出石藩主と上田藩主との国替えを縁に、昭和54年に姉妹都市提携を締結し、以降、さまざまな交流が続けています。

本市は、10月31日から2日間、信州上田を探訪する「豊岡市民ツアー」を実施しました。ツアーには、市民ら29人が参加し、モミジの深紅、イチヨウの黄色などが鮮やかな上田城跡や、信州上田真田丸

大河ドラマ館などを見学しました。上田城跡公園では、歓迎セレモニーも行われ、上田市の母袋創一市長から歓迎のあいさつを受けました。

上田市からは、毎年11月3日の出石お城まつりに来訪し、今年も上田市特産「りんご」の無料配布や物産展でまつりを盛り上げていただくとともに、昨年に引き続き、上田市民ツアーも来訪しました。

本市と上田市は、市民間交

流で、さらに友好を深めることができました。



▲上田城跡公園での歓迎セレモニー

中貝市長の徒然日記 109

ニューヨークなのだ

貿易会社が主催する日本食レストランエキスポに出展するため、コウノトリ米を引っ掛けて、ニューヨークに行ってきました。日本から100を超える企業等が参加し、会場はレストランのオーナーやシェフたちでごった返しました。

現場では無用の長物「市長を尻目に、市の担当2人と、この夏インターンシップで2カ月市役所に来ていたコネチカット大学生の小林菜子さん、料理研究家の土井陽子さん、NY生活プレス社の一ノ瀬はづきさん」からなる豊岡チームは、着々と客を呼び込み、試食を提供し、コウノトリとコメの説明をしていきます。

寿司店等から注文もいただき、今回の最大の成果は、日本料理店「ブラッシュストローク」でコウノトリ米の使用が決まったことでした。

ブラッシュストロークは、ニューヨークのトップシェフの一人、デイビッド・ブルー

イさんが辻調理師専門学校グループと共同で始めた、大人気でもっとも評価の高い、高級和食レストランです。

昨年、龍力の本店・本店・本店・本店から「日本食エキスポ」に豊岡も出ておいで。うちのブリス、貸してあげてもいいよ」と声をかけていただき、まずは先遣隊で職員を派遣したのが始まりでした。その会場で、ブラッシュストロークの山田 勲料理長をご紹介いただき、以来その職員が連絡を取り合ってきました。

並行して、切り絵作家の久保修さんからご紹介いただいたNY生活プレス社の一ノ瀬さんも自腹で店を訪れ、山田さんとながりを待ち、働きかけをしてくださいました。

そして今年9月、1カ月間の試験利用にこぎ着けました。山田さんは、ぼくが店内の席に着くや開口一番「美味しくて素晴らしい米です。背後の物語にも感動しました。今後ぜひ使わせてください」。山田さんが席を立たれた後、職員がそっと眼を拭くのが見えました。